



要配慮者に関すること、要配慮者マーク

要配慮者に関するマーク

災害時には、妊婦、高齢者、外国人、障害がある方など、手を差し伸べなければならない、「要配慮者」への思いやりと支援が大切です。

下記のマークの説明はどれか、線で結んでみましょう。



ヘルプマーク／義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方のマーク



ヘルプカード／障害者が災害時などに周囲に自己の障害への理解や支援を求めるため、緊急連絡先や必要な支援内容などが記載されたカード



マタニティマーク／妊婦が、交通機関等を利用する際に身に付け、周囲に妊婦であることを示すマーク



障害者のための国際シンボルマーク／障害のある方が利用しやすい建築物や公共交通機関であることを示す、世界共通のマーク



耳マーク／聴覚に障害があることを示し、コミュニケーション方法に配慮を求める場合などに使用されているマーク



盲人のための国際シンボルマーク／視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられている世界共通のマーク

外国人など多様な人々に関する対応

災害時において、日本語がわからない外国人に対し、円滑な情報提供を支援する必要があります。

このページでは避難時や、避難所で使用できる多言語支援ツールを紹介しています。

●災害時多言語表示シート(一般財団法人 自治体国際化協会(クリア))

災害時に使用する用語を多言語に翻訳したシート、ピクトグラムなどを公開しています。



災害時多言語表示シート



災害時用ピクトグラム

●外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ「Safety tips」(観光庁監修)

自然災害時において外国人旅行者が情報収集する際に役立つ、外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ「Safety tips」が公開されています。



●「防災カード」

(ぱらっとワールドあおもり)

日本語に不慣れな在住外国人の皆さんにわかりやすく防災情報を伝えるための、やさしい日本語(読み書きの難しい漢字・平仮名・カタカナを使った簡単な語句と短い文章で表現)とイラストを使った「防災カード」です。

